

## 第5回 親子会議報告 (2013. 2. 12)

堅倉小学校

平成24年度第5回親子会議へのご協力、ありがとうございました。  
今回の親子会議のテーマは「思い」と「思いやり」でした。会議の様子を紹介します。

### 大人のみなさんの「ありがとう」の思い出

病気で学校を欠席した時に、友だちが荷物やプリントを自宅まで届けてくれた／熱を出して寝ているときに親が様子を見に来てくれた／遠足の時に遅刻しそうになって車で送ってもらった／(祖母が)バスに乗り遅れた私を自転車の後ろに乗せて送ってくれた／1年生の初登校の時、6年生のお姉さんが手をつないで学校まで連れていってくれた／自転車で転んで泣いていたら、上級生の子が来て「だいじょうぶ？」と声をかけてくれた／(転校して)言葉やゴム飛びのルールなど、地域によって違うことにとまどっている自分を(友だちが)いつも気にかけてくれた／発熱のため早退して帰らなければならない自分を心配して、友達が昇降口までついてきてくれた／合唱でピアノ伴奏をすることになったがなかなか上手に弾けなかった。みんなが励ましてくれ、無事に本番を終えられた／仕事でなかなか休みを取れない親が、そろって運動会に応援に来てくれた／体調を崩して家で休んでいたときに、母が私の好きな果物を買ってきてくれて、布団と一緒に寝てくれた／

「おぼえていない」人もいるようですが、時間を経ても心に残っている「ありがとう」の思い出には、自分が困っている時に人に何かをしてもらったこと、という共通点があるようです。

### 「思い」と「思いやり」ってどう違うの？

- 「思い」は自分でできること、「思いやり」は相手に伝えること。
- 「思い」は考えること、「思いやり」はその人の身になって考えること。
- 「思い」は自分の気持ち、「思いやり」は相手の気持ちになって考えるやさしい気持ち。
- 「思い」はこうしたらいいなとか、こうするといいなと思うこと、「思いやり」は、相手のことを思って行動すること。
- 「思い」は自分の心の中だけで色々考えること、「思いやり」は相手の立場になって相手の事を優先に考えること。
- 思いは心の中で思うので、目に見えない。思いやりは行動に移すので、目に見える。

### 第5回親子会議の感想・・・

#### 大人の感想

今回のテーマはとても難しかったです。私たち親自身も改めて考えさせられたテーマでした／思いやりのある子に育ててほしいと思いました。そのためには周りが思いやりのある行動をしていかななくてはと思いました／相手の身になって行動するというのは大人でもなかなか実行できている人は少ないので貴重なテーマでした。このことをわかりやすく説明しましたが、よく理解できない様子でした／他人に対しては「ありがとう」と素直に言える気がします。でも家族に対しては、なかなか言えない言葉の一つなのかな？と思いました。／

#### 子どもの感想

「思い」と、「思いやり」の違い…前まで複雑だなあと思っていたけど、考えればなるほどと思った／心の中で「ああしたい、こうしたい」と考えているのにそれを実行できない時があるなあと考えた／言葉って大切だなあと考えた／思いやりは自分では気づけないんだなあと考えた／思いと思いやりの意味がわかった。思いはただ思っているだけで、思いやりは思ったことを人にやってあげること／家族で話して、今までにうれしかった事がたくさん頭に浮かんできて、一人じゃうれしい気持ちにはなれないなと感じました／

「今回のテーマは難しかった」また「低学年では、良く理解できなかったようだ」との感想も複数いただきました。一方で感想を読むと、今回の話し合いで「思いやり」の本質に気付いた子どももいるようです。やはり「思いやり」を理解するにはある程度の生活体験が必要なのかもしれません。

しかし「思いやり」は人が人と寄り添って生きていく上でとても大切なことで、これによって助けたり助けられたりということが、これからの子ども達の人生で必ず出てきます。そういう節目節目で「思いやり」について考えさせることで、子どもたちの心が一回り成長していきます。子ども達がピンチで落ち込んでいるとき、大人の大きな「思いやり」を見せたり、(思いやりと甘やかしは別物なのでそれも難しいところではあります)自分の子どもの頃の話をしてあげたりできたらいいなと思いました。